

TNM分類

T:原発腫瘍

T_x :原発腫瘍の評価が不可能

T₀ :原発腫瘍を認めない

T_{is} :上皮内癌

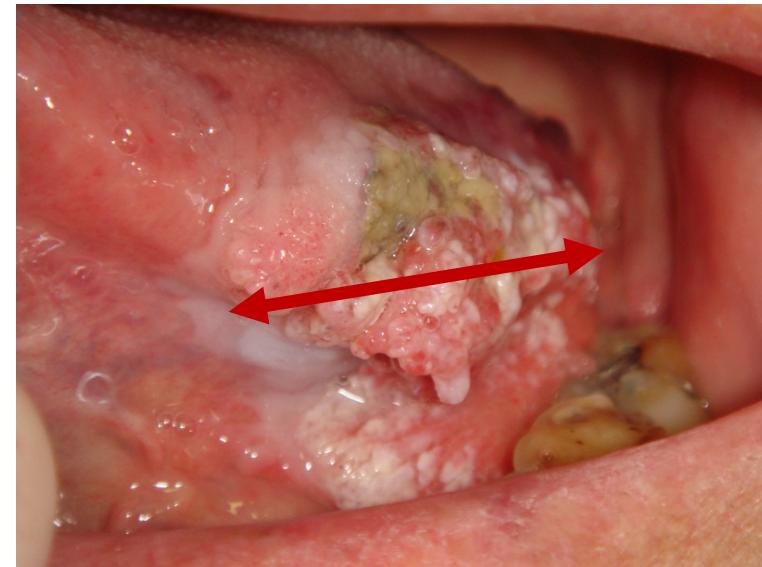
T₁ :最大径が2cm以下の腫瘍

T₂ :最大径が2cmを超えるが4cm以下の腫瘍

T₃ :最大径が4cmを超える腫瘍

T_{4a} :骨髄質、舌深層の筋肉、上顎洞、顔面の皮膚に浸潤した腫瘍

T_{4b} :咀嚼筋間隙、翼状突起または頭蓋底に浸潤した腫瘍、または内頸動脈を周囲的に取り囲む腫瘍



TNM分類

N : 所属リンパ節

N_x : 所属リンパ節転移の評価が不可能

N₀ : 所属リンパ節転移なし

N₁ : 同側の単発性リンパ節転移で最大径が3cm以下

N_{2a} : 同側の単発性リンパ節転移で最大径が3cmを超えるが6cm以下

N_{2b} : 同側の多発性リンパ節転移で最大径が6cm以下

N_{2c} : 両側あるいは対側のリンパ節転移で最大径が6cm以下

N₃ : 最大径が6cmを超えるリンパ節転移

N分類

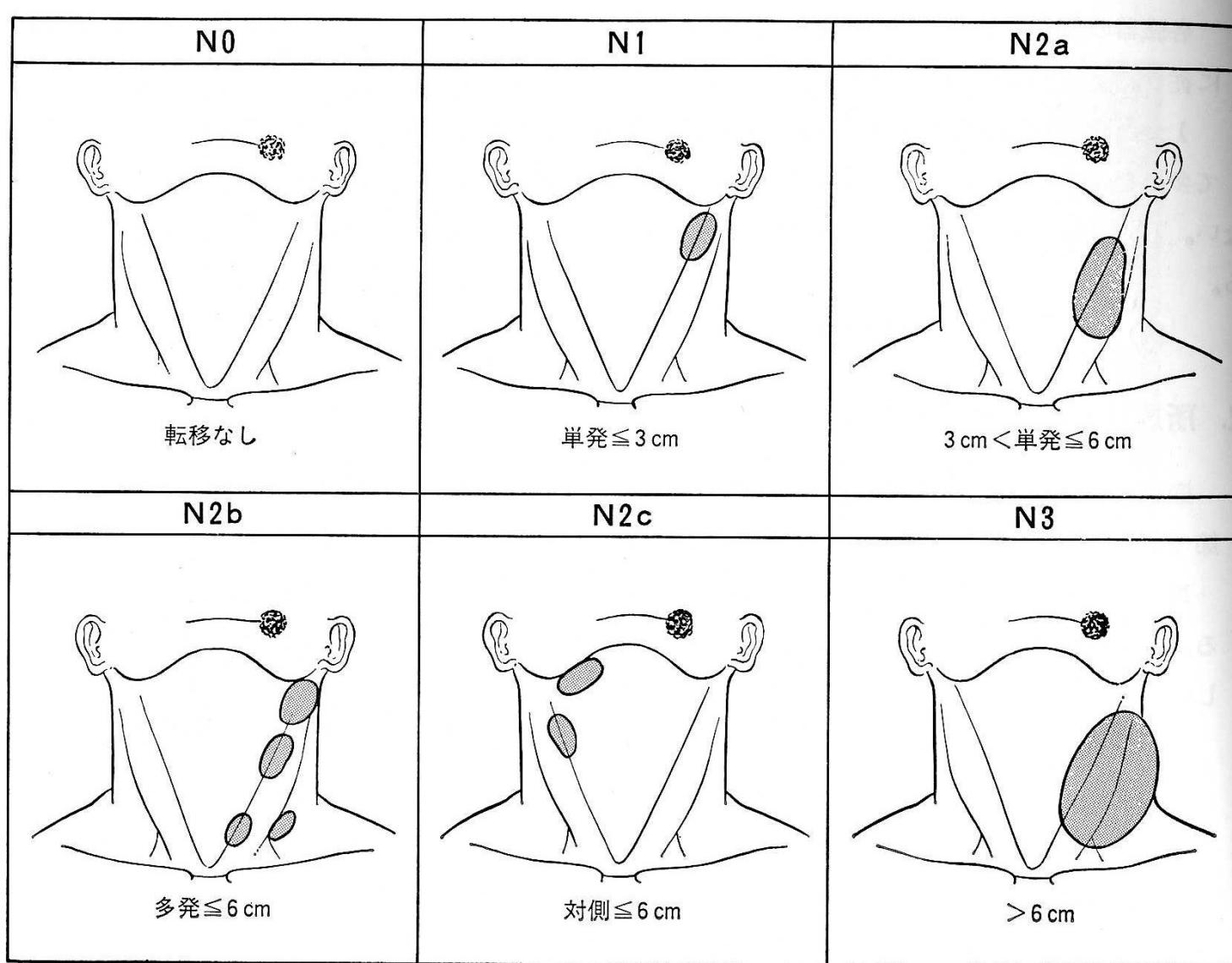


図 1. 頸部リンパ節転移の進展度

TNM分類

M : 遠隔転移

Mx : 遠隔転移の評価が不可能

M0 : 遠隔転移なし

M1 : 遠隔転移あり

Stage分類

I期 T1 N0 M0

II期 T2 N0 M0

III期 T3 N0 M0

T1,T2,T3 N1 M0

IV期 T4 N0,N1 M0

Tに関係なくN2,N3 M0

T, Nに関係なくM1

理念

県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします



救急医療

一刻を争う救命救急医療を追求します



がん医療

あらゆる治療の可能性を追求します



当科の口腔癌治療

- ・原則として術前放射線治療(40Gy) + 化学療法 + 手術の3者併用療法
- ・T1では術前放射線治療後に手術
- ・T2以上は3者併用療法
- ・予防的頸部郭清術は施行しない(但し遊離再建術を行う場合は施行)。
- ・N(+)で切除可能であれば全頸部郭清術
- ・舌癌、上顎癌、中咽頭癌では超選択的動注化学療法と放射線治療を施行。
- ・切除不能な進展例では放射線 + 化学療法を施行し、救済手術が可能となれば切除。
- ・PN(+)では、術後補助療法で化学療法または放射線治療を施行。
- ・再建は遊離皮弁が主体(腹直筋皮弁、前腕皮弁、前外側大腿皮弁、腓骨皮弁、腸骨皮弁、etc)

形成外科医とのチーム医療であらゆる再建術が可能になった

頭頸部・口腔癌カンファレンス

毎週月曜日に開催

放射線治療科医、耳鼻科医、口腔外科医、形成外科医、看護師が参加

ケースカンファレンス

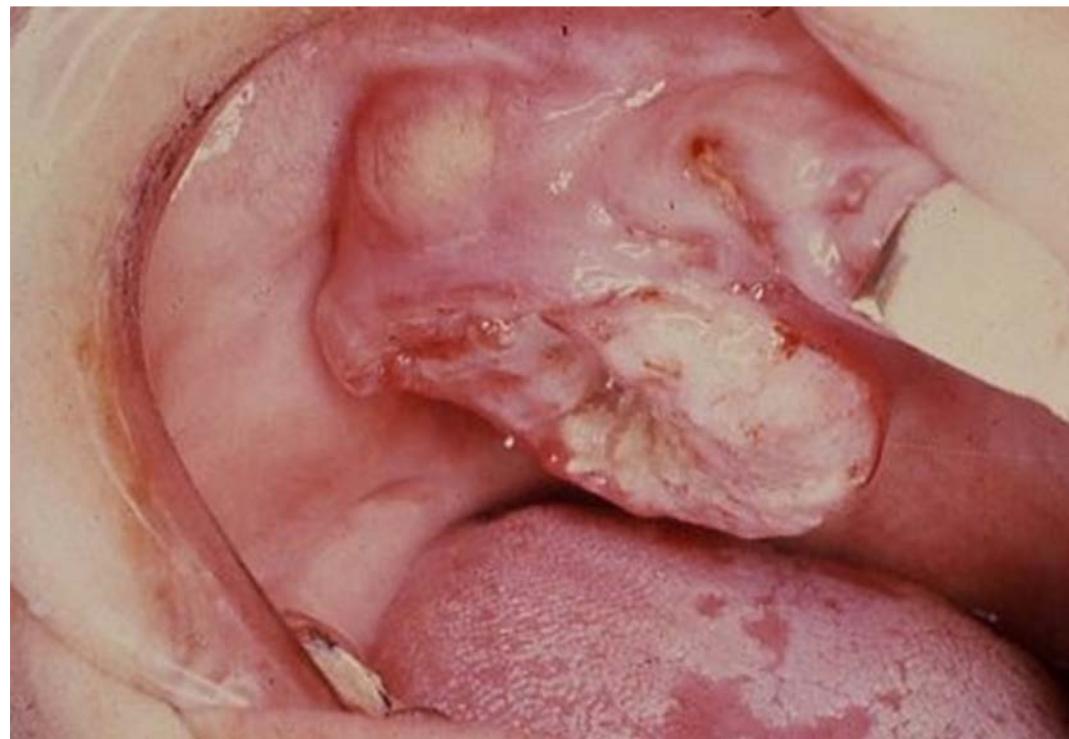
症例の詳細を紹介
治療方針の決定
手術法の決定
経過の報告 etc

各科持ち回りで勉強会

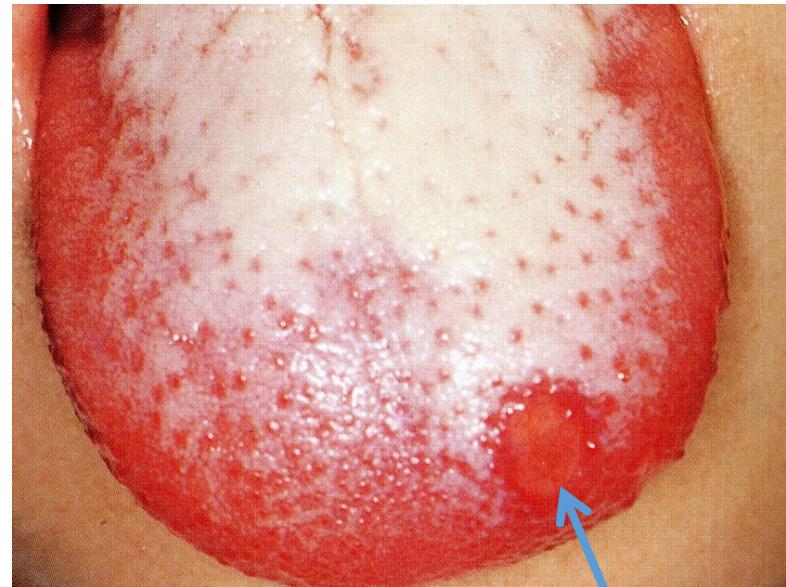


口腔癌の特徴は？

- ・大半は扁平上皮癌
- ・進行速度速い
- ・潰瘍の形成
- ・初期は無痛性腫脹
- ・目で見える！

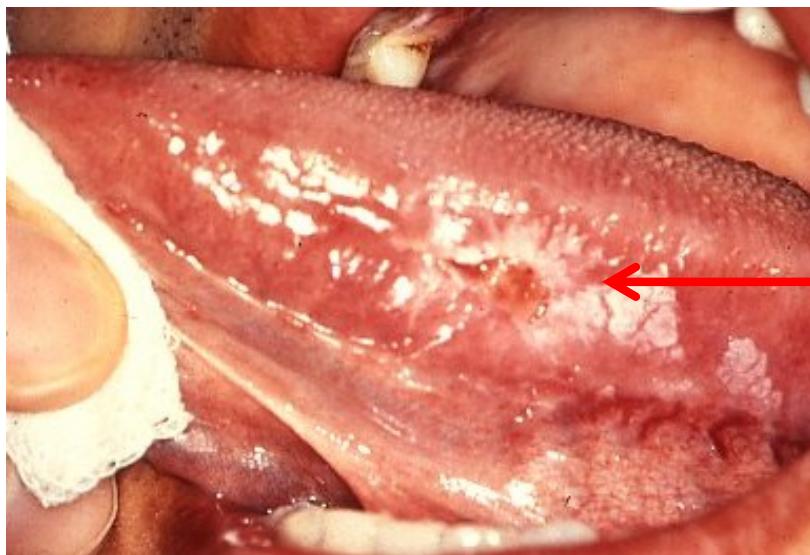


これも舌癌？



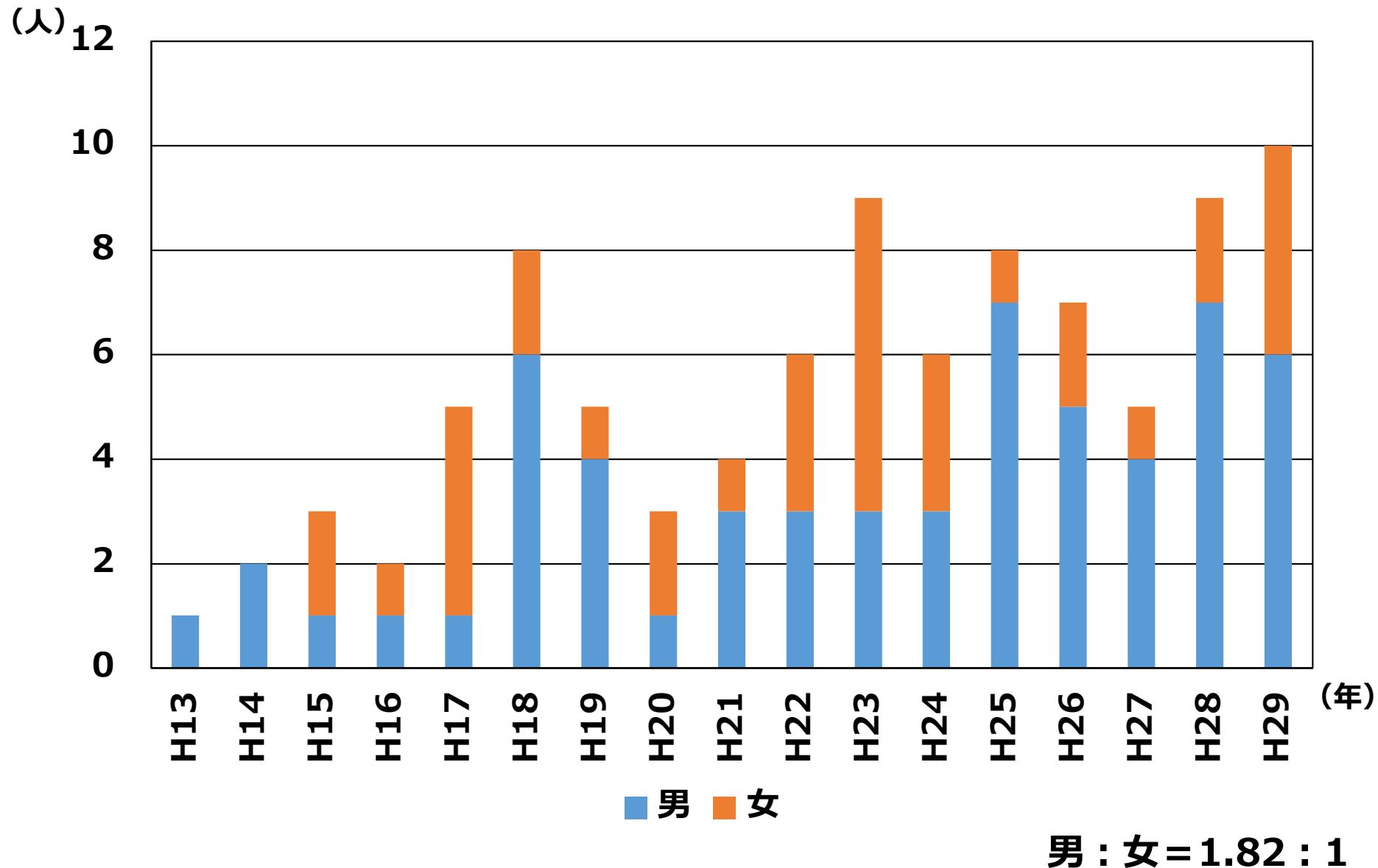
白板症

アフタ

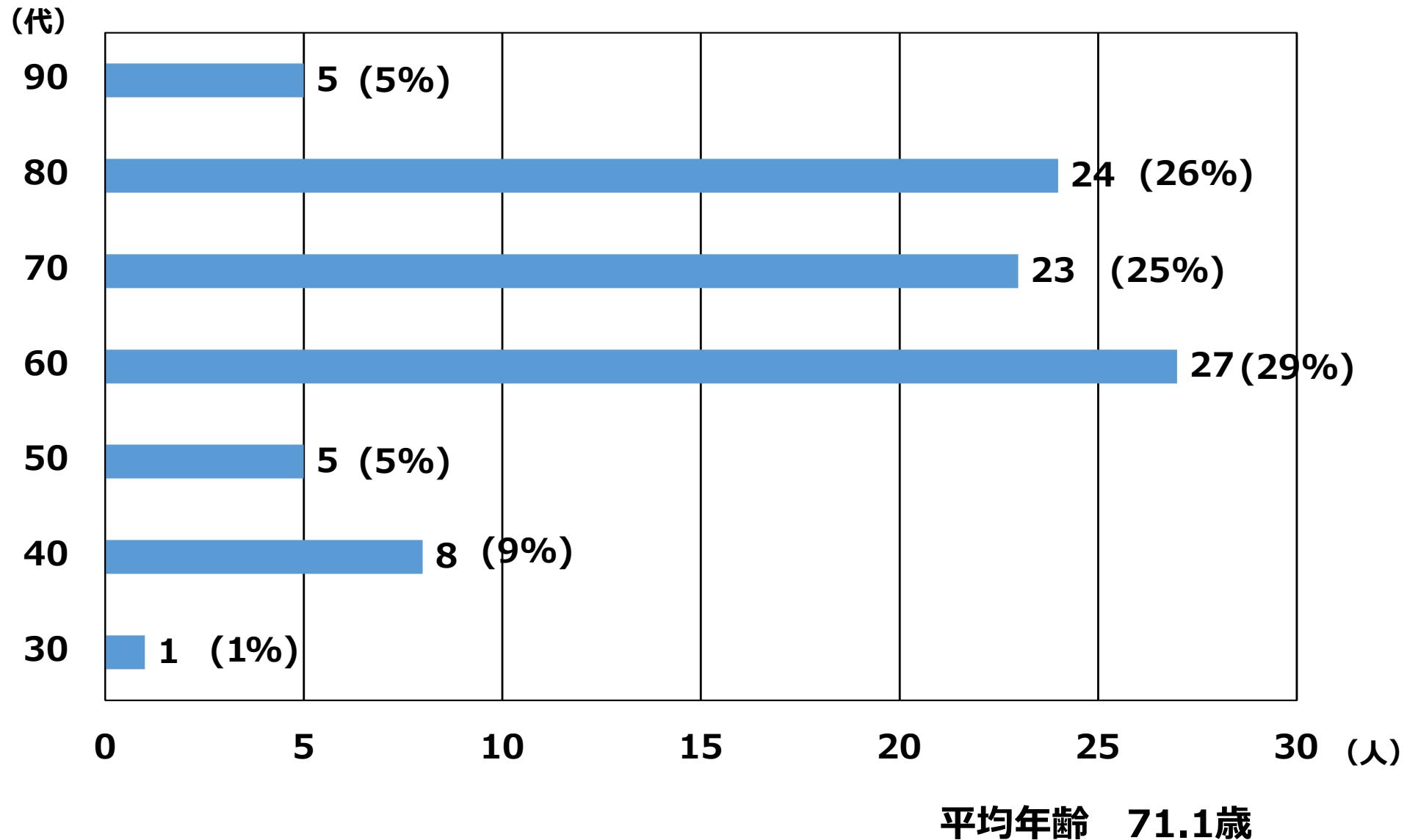


これは舌癌です。
潰瘍の形態が不正
周囲に硬結

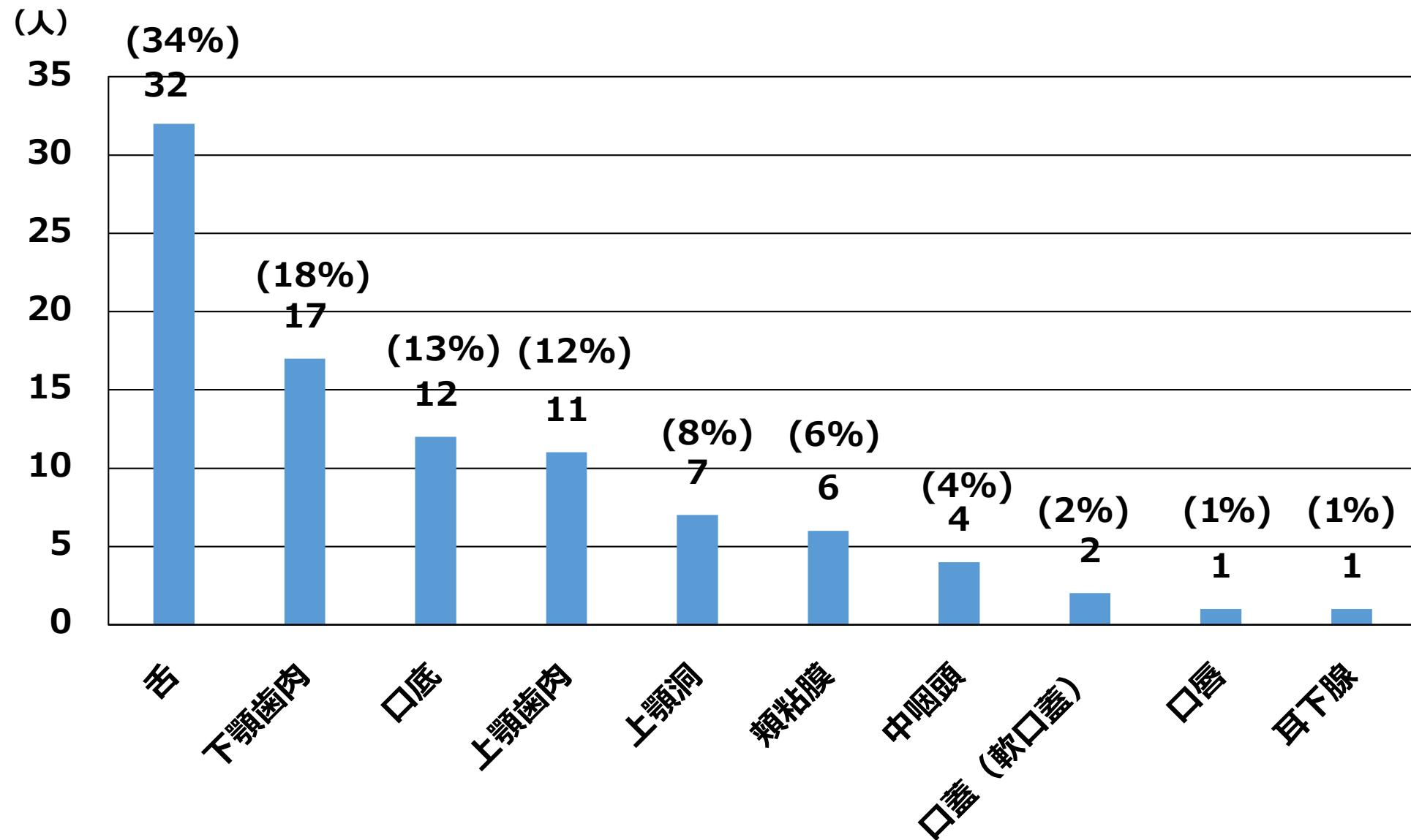
年度別症例数



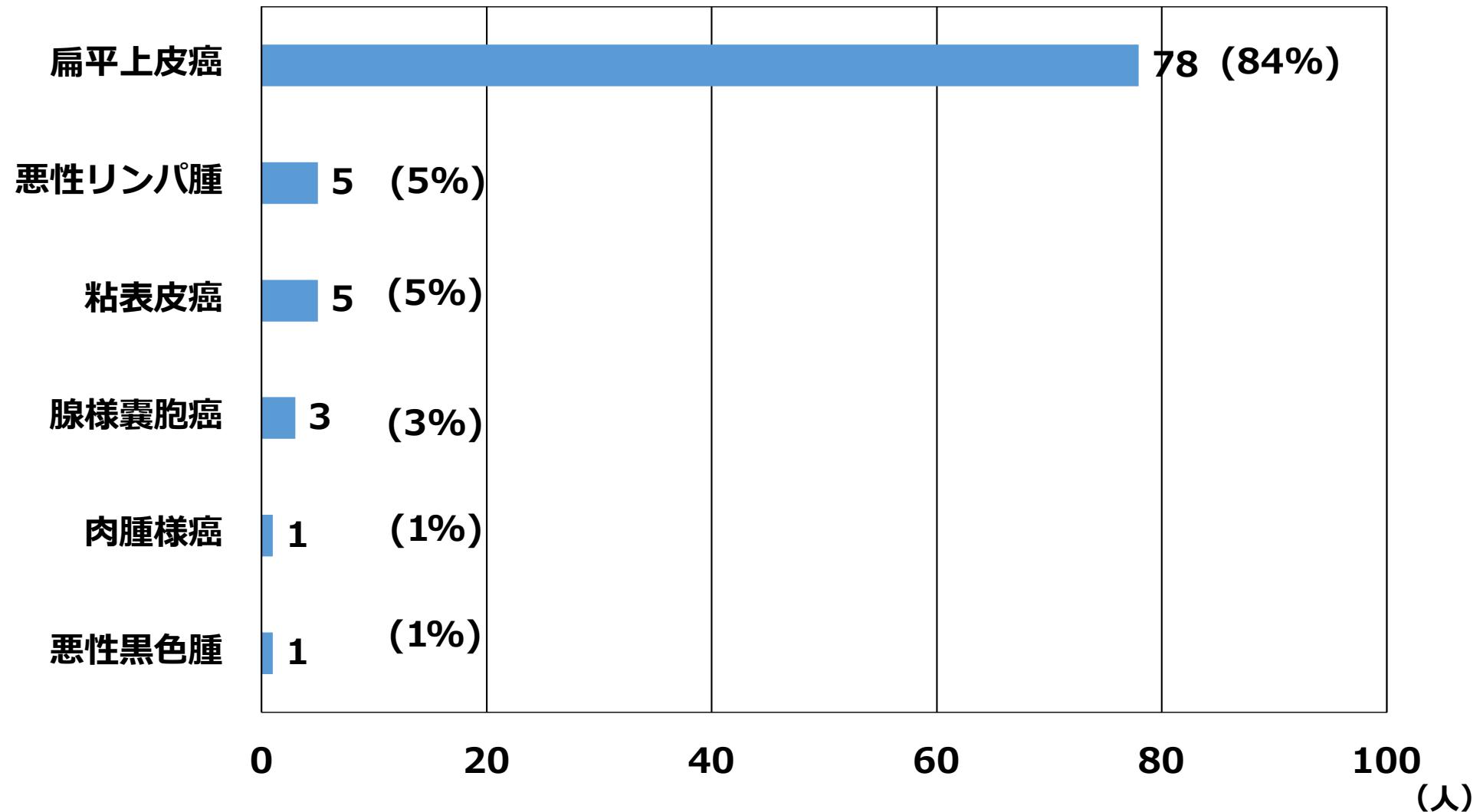
年齢別症例数



部位別頻度



組織別頻度



TNM分類

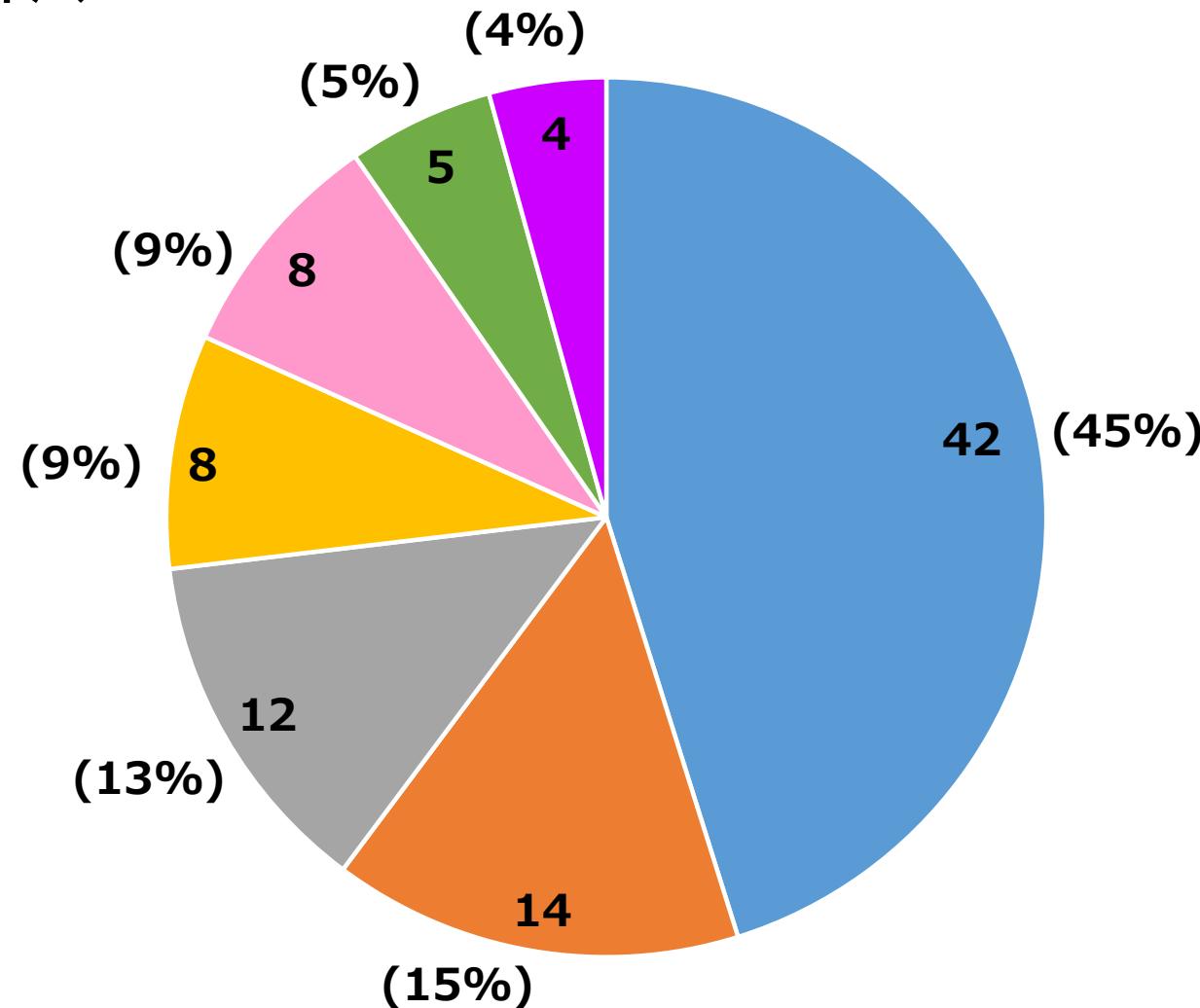
	Tis	T 1	T 2	T 3	T 4	計	
N 0	2	19	24	5	5	55	(63%)
N 1	0	2	8	6	4	20	(23%)
N 2	0	0	4	1	7	12	(14%)
N 3	0	0	0	0	0	0	
計	2 (2%)	21 (24%)	36 (41%)	12 (14%)	16 (18%)	87	

M 1 症例 3例 : T4N2M1, T4N1M1, T3N0M1

Stage分類

0	2	(2%)
I	20	(23%)
II	24	(28%)
III	20	(23%)
IV	21	(24%)
計	87	

治療法内訳



■ 手術+放射線療法+化学療法

■ 放射線療法

■ 手術+化学療法

■ 手術+放射線療法

■ 放射線療法+化学療法

■ 手術

■ 未治療

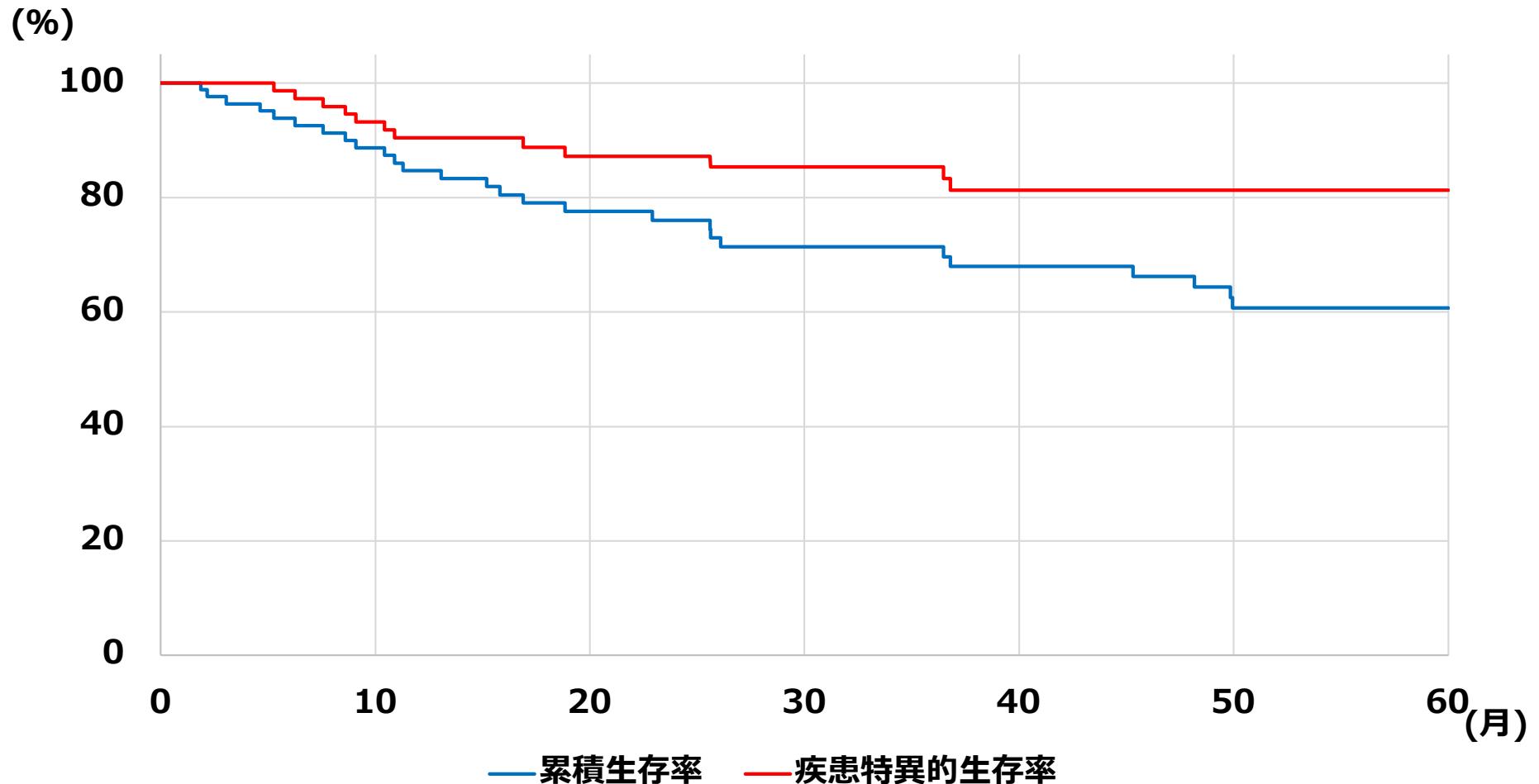
超選択性的動注

CR:9例 PR:7例

奏功率：100%

年齢・性別	原発部位	方法/回数	薬剤	臨床効果	手術	腫瘍残存	再発・転移
男66	中咽頭	Seldinger	NDP+5FU	CR	+	未	再発
女48	舌	逆行性	CDDP+5FU	CR	+	無	無
男42	舌	逆行性	CDDP+5FU	PR	+	有	再発
女43	上顎洞	逆行性	CDDP+5FU	PR	+	無	無
女60	上顎洞	逆行性	CDDP+5FU	PR	+	有	転移
女80	上顎洞	Seldinger	NDP+5FU	PR	+	有	無
男66	舌	Seldinger	NDP+5FU	CR	+	無	無
男64	舌	Seldinger×2	NDP×2+5FU	CR	-	無	無
女70	舌	Seldinger×2	NDP×2+5FU	CR	+	無	無
女98	舌	Seldinger	CDDP	PR	-	無	無
男68	舌	Seldinger	NDP+5FU	CR	+	無	無
男69	舌	Seldinger×2	(NDP+5FU) ×2	CR	+	無	無
男82	舌	Seldinger	NDP	PR	+	無	無
女63	舌	Seldinger×2	(NDP+5FU) ×2	CR	+	無	無
男78	舌	Seldinger	NDP+5FU	PR	+	無	無
男82	舌	Seldinger	NDP+5FU	CR	+	無	無

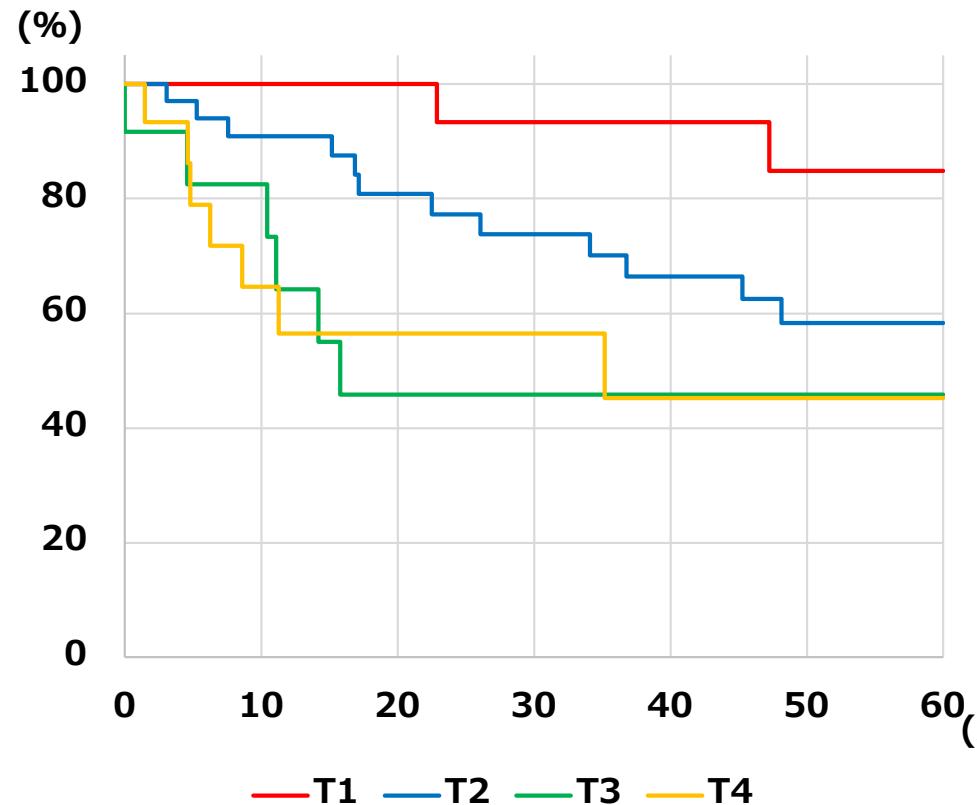
5年生存率



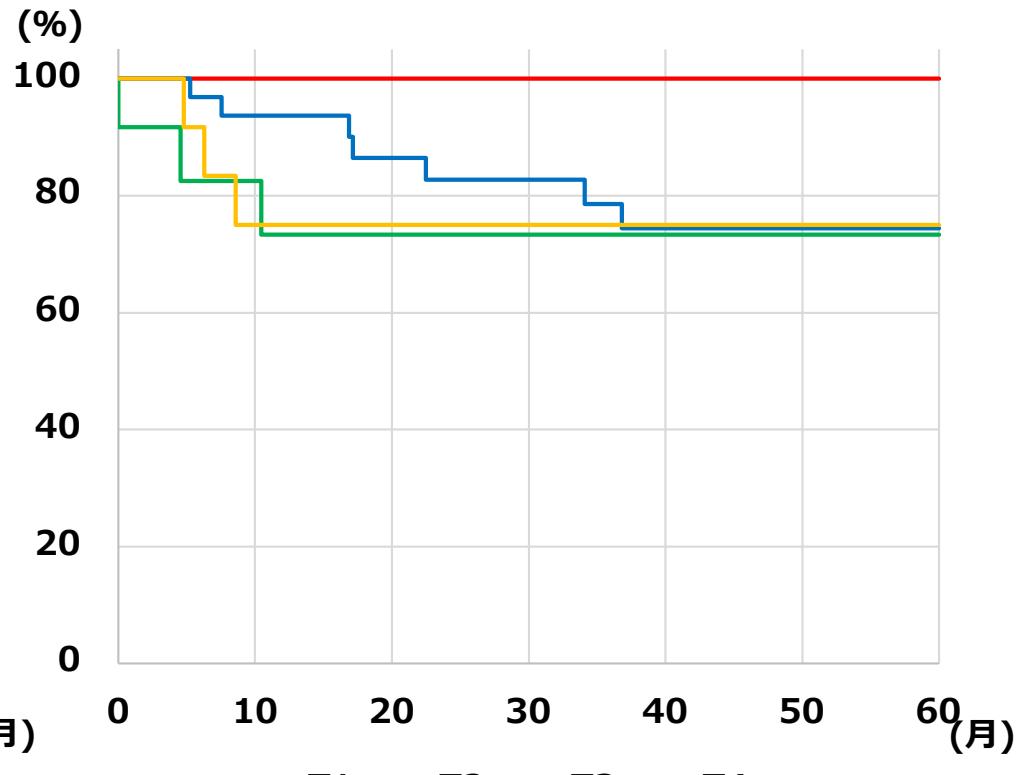
累積 (%)	60.7
疾患特異的 (%)	81.3

T 分類別生存率

累積生存率



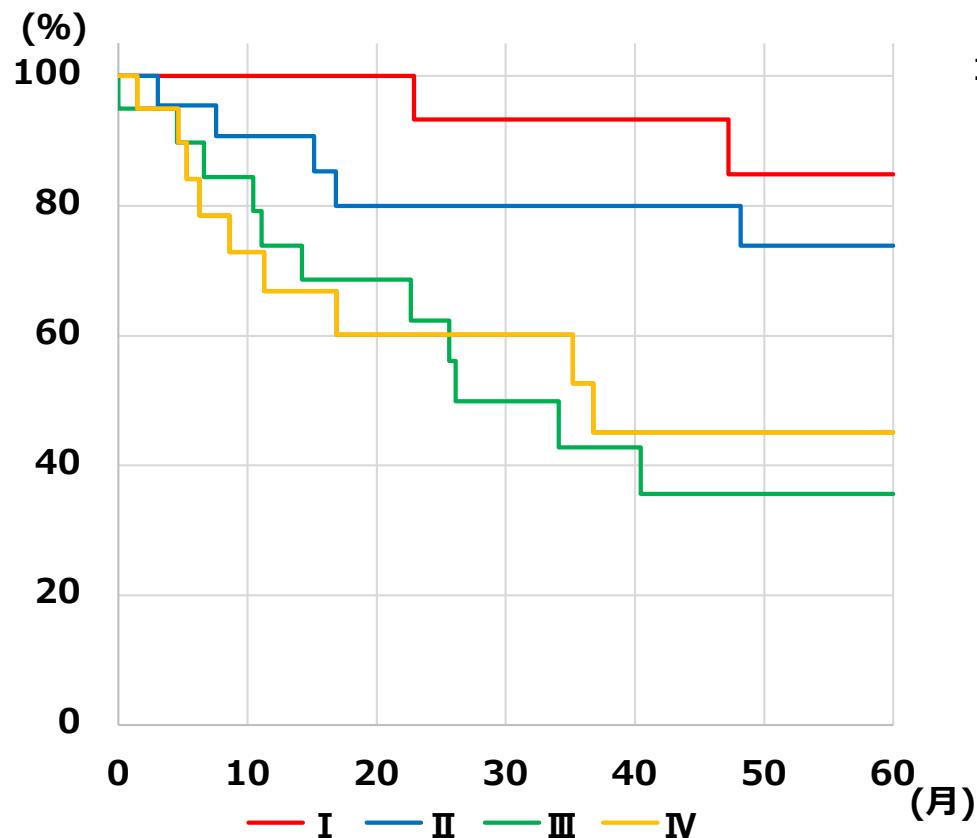
疾患特異的生存率



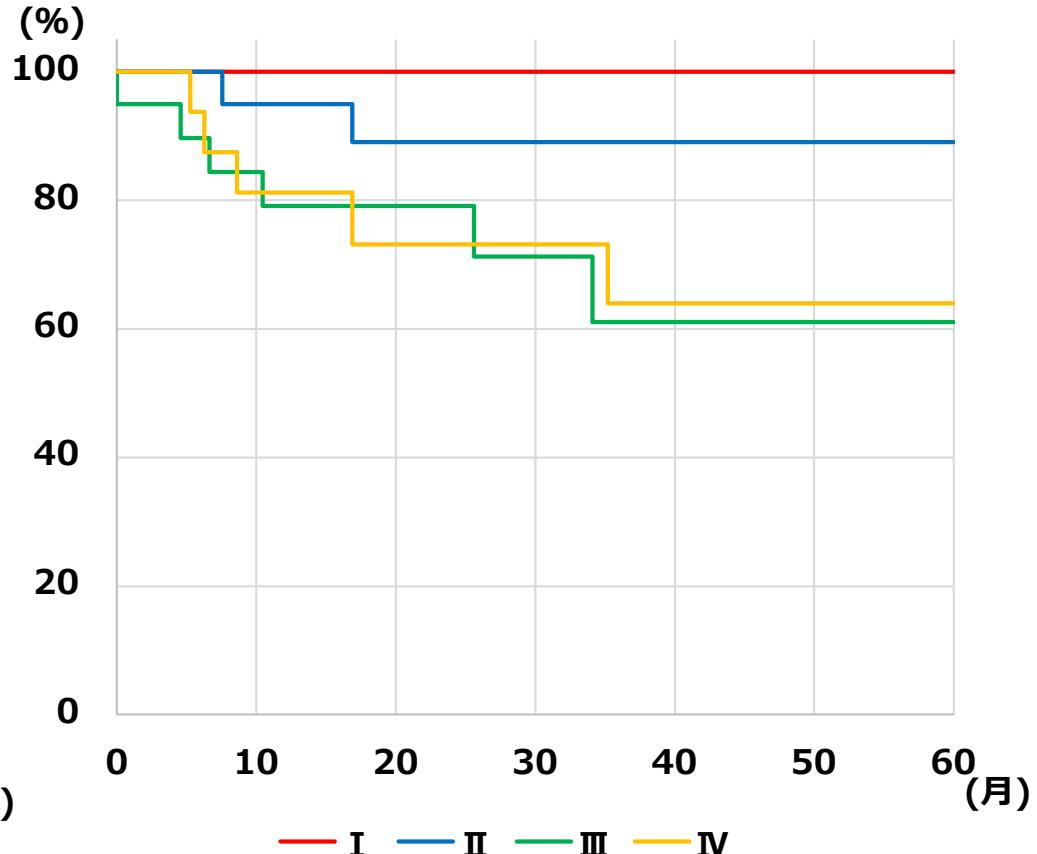
	T1	T2	T3	T4
累積 (%)	84.8	58.3	45.8	45.2
疾患特異的 (%)	100	74.4	73.3	75

Stage分類別生存率

累積生存率

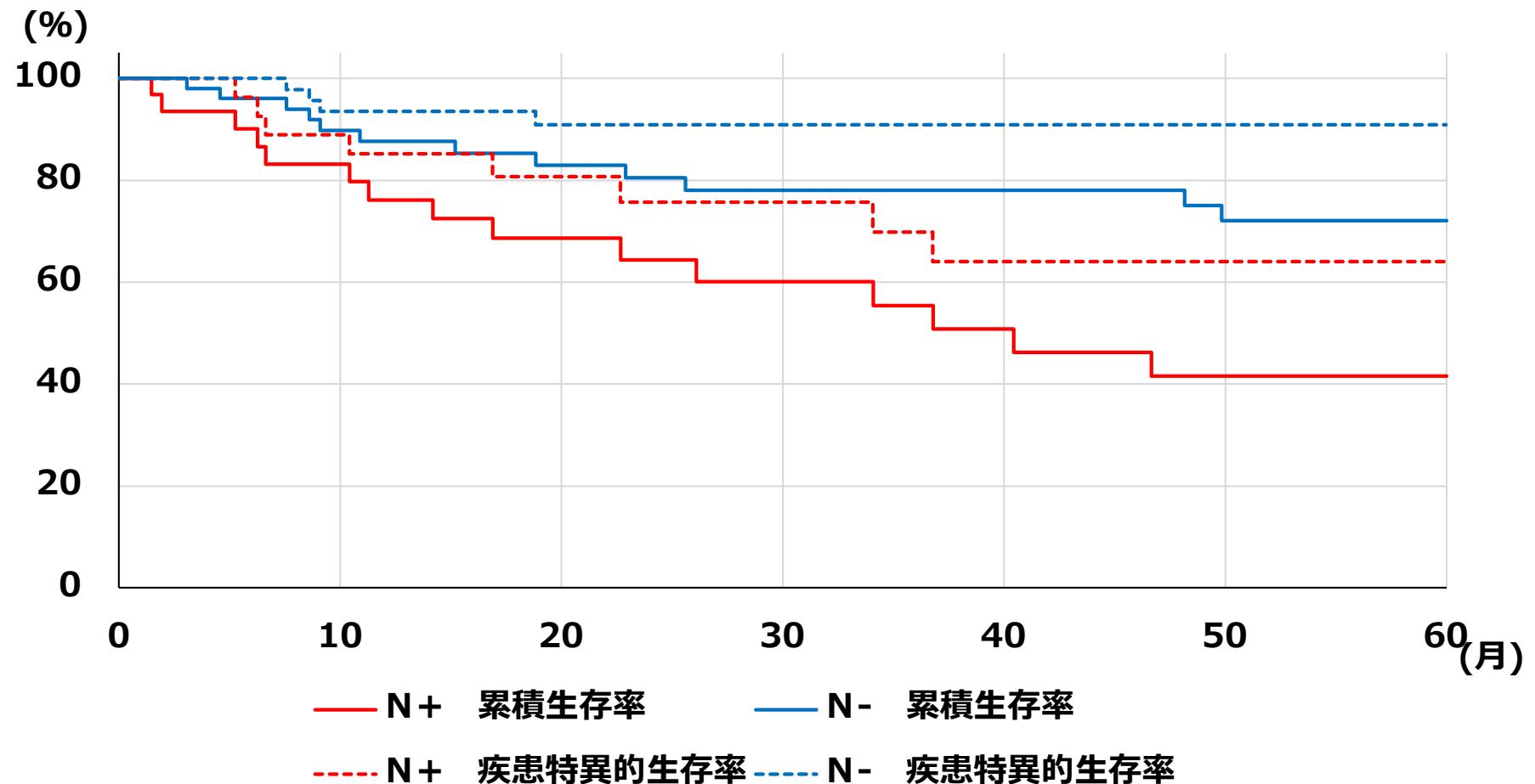


疾患特異的生存率



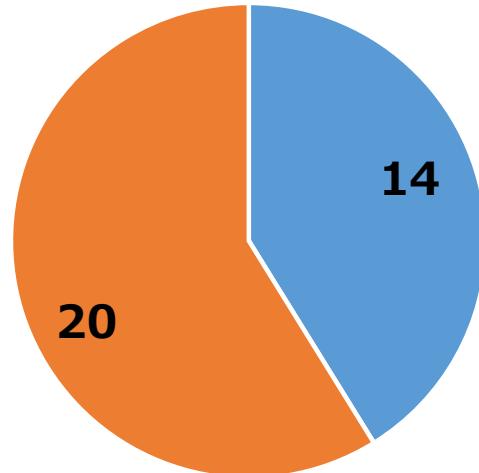
	I	II	III	IV
累積 (%)	84.8	73.9	35.6	45.1
疾患特異的 (%)	100	89.0	61.4	64.0

N分類別生存率



	N+	N-
累積 (%)	41.6	72
疾患特異的 (%)	64	90.9

死亡内訳



■ 主病死 ■ 他病死

主病死の原因

	症例数
腫瘍の増大	13(93%)
その他	1(7%)
計	14

再発率

